

令和二年度入学試験問題

国

語

(国語総合(近代以降の文章)・現代文B)

(三問)

令和二年二月二十五日

自 十二時三十分

至 十四時三十分

答案作成上の注意

- 一 この問題冊子には、国語総合(近代以降の文章)及び現代文Bの問題があります。総ページは二十ページです。ただし、第七ページ、第十五ページは下書き用です。
- 二 解答用紙は一枚(表裏の二ページ)です。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 三 受験番号は、解答用紙の所定の箇所に、必ず記入しなさい。
- 四 配付した解答用紙は、持ち出してはいけません。
- 五 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。
- 六 この問題冊子の裏表紙には、試験時間中に机の上においてよいものを記載しています。

第一問

次の文章は、現代医療において人の生や死がどう扱われているかを論じた文章の一部である。筆者は、この部分に先立ち、現代医療では人を「死なさないベクトル」と「死なせるベクトル」の両方が一体となつて存在していると述べている。以下は、それに続く部分である。これを読んで、後の問いに答えよ。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(安藤泰至「生命操作システムのなかの(いのち)——生の終わりをめぐる生命倫理問題を中心に」による)

注 QOL……クオリティ・オブ・ライフ。「生活の質」と訳されることが多いが、筆者はこの文章では「生命の質」という意味で用いている。

ALS(筋萎縮性側索硬化症)……身体を動かすための神経細胞や神経線維が徐々に壊れて命令を伝えることができなくなり、全身の筋肉がやせていく疾患。

問一 二重傍線部 a k e のカタカナを漢字で書け。

問二 傍線部①に「質が低い」というレッテルが貼られた「生」とある。筆者が、ただ「質が低い生」とせずに、「というレッテルが貼られた」という語句を挿入したのはどのような意図からか。説明せよ。

問三 傍線部②に「生の始まりと終わりをめぐる問題は驚くほど相似的なものである」とある。両者は、どういう点で相似的だといえるのか。本文中の語句を用いて説明せよ。

問四 傍線部③に「こうしたことから言えるのは、「尊厳死」という言葉が、なにか特定の行為(内容)を指すというよりは、ある種のイメージを伝える言葉であるということだ」とある。

1 「ある種のイメージ」とはどのようなイメージか。それを具体的に表す語句を本文中から二つ抜き出せ。

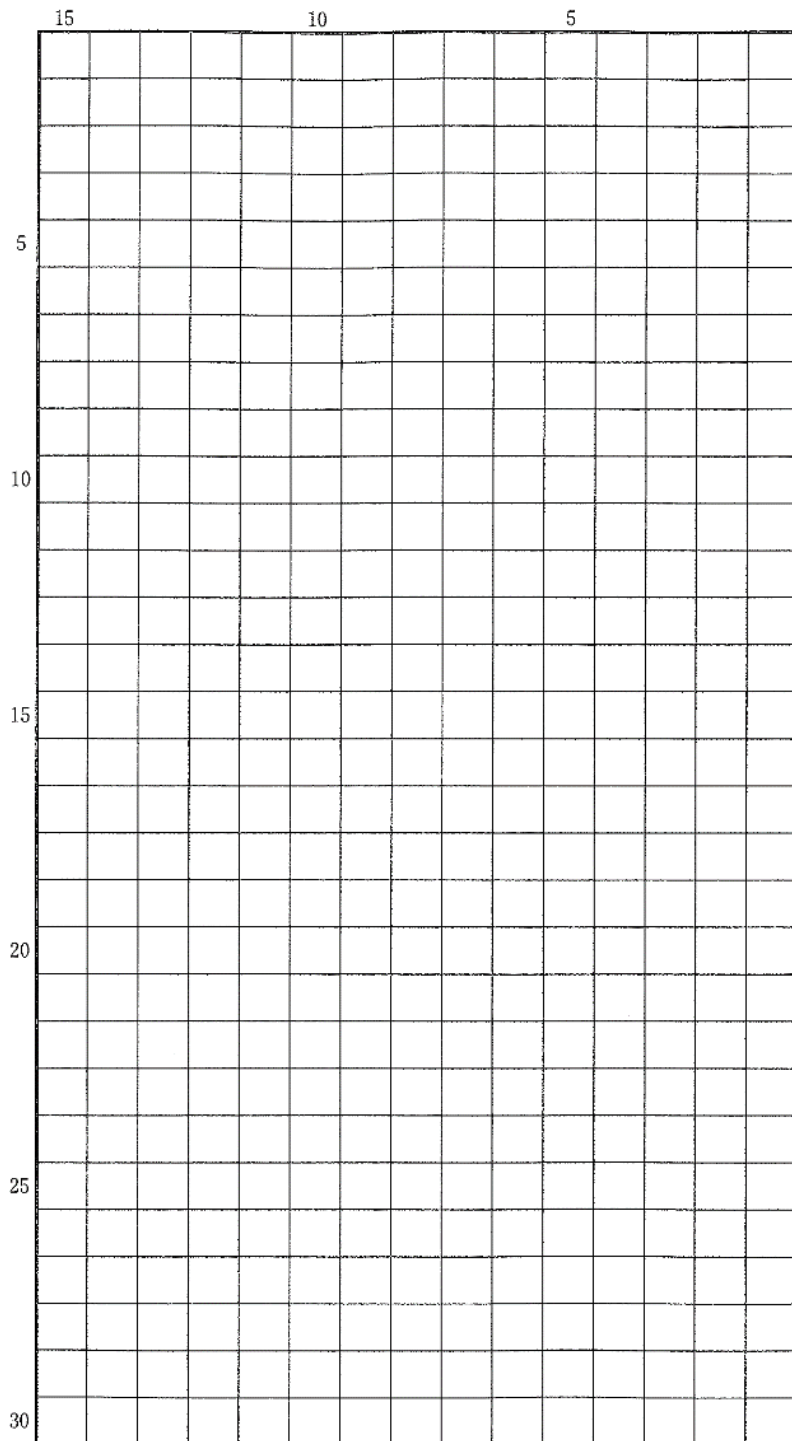
2 筆者は、「尊厳死」という言葉のイメージが、「オレゴン州尊厳死法」の成立にどう関わったと述べているのか。本文の内容に即して説明せよ。

問五 傍線部④に「いかにしたら「尊厳ある生」を守り、支えることができるのか問う前に、「死なせる」によって尊厳が守られる、という安易な対処がいかに危険であるか」とある。筆者は何を「危険」視しているのか。説明せよ。

問六 傍線部⑤に「人工呼吸器の装着は悪い意味での「延命治療」として、忌避する選択肢になってしまふ」とある。これはどういうことか。「悪い意味での「延命治療」とは何かを明確にして説明せよ。

問七 筆者によると、「尊厳死」や「延命治療」という言葉は、現代医療においてどのように作用しているか。本文全体をふまえて百字以内で説明せよ(句読点を含む)。

下書き用（解答は、別紙の解答用紙に書くこと。ここに書いたものは、採点の対象にならない。）



第二問

次の文章は、竹西寛子の「五十鈴川の鴨」の一節である。「私」には、会社の同僚ではないが、あるとき企業セミナーで知り合い、その後親しく付き合った「岸部悠二」という友人がいた。「私」のもとに、「岸部」の会社の同僚であったという「香田」と名乗る女性から、「岸部」からの伝言を預かっているので直接会って伝えたいと電話がある。「私」はその翌日に会社で「香田」と面会することにした。念のため「岸部」の会社に電話すると、半年前から国外にある同系列の別会社に移籍したことがわかった。その後「岸部」との付き合いを回想してみると、彼の家族のこと等をあまり知らされていなかったことに思い至る。以下は、それに続くこの小説の全文である。これを読んで、後の問いに答えよ。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

問一 傍線部①に「記憶に確実に届いた彼の託けによって、何かに縛りつけられていく自分がいた」とある。「何か」の内容を本文中の言葉を用いて説明せよ。

問二 二重傍線部ア、ウの「自分」はそれぞれの人物を指しているか。次の中から選び、記号で答えよ。

- a 岸辺 b 香田 c 私

問三 傍線部②に「自分に生き続ける勇気を与えるための手段だったのかと思いいたりました」とある。「香田」という女性がどのように考えたのはなぜか。「香田」と「岸部」との関係をふまえて説明せよ。

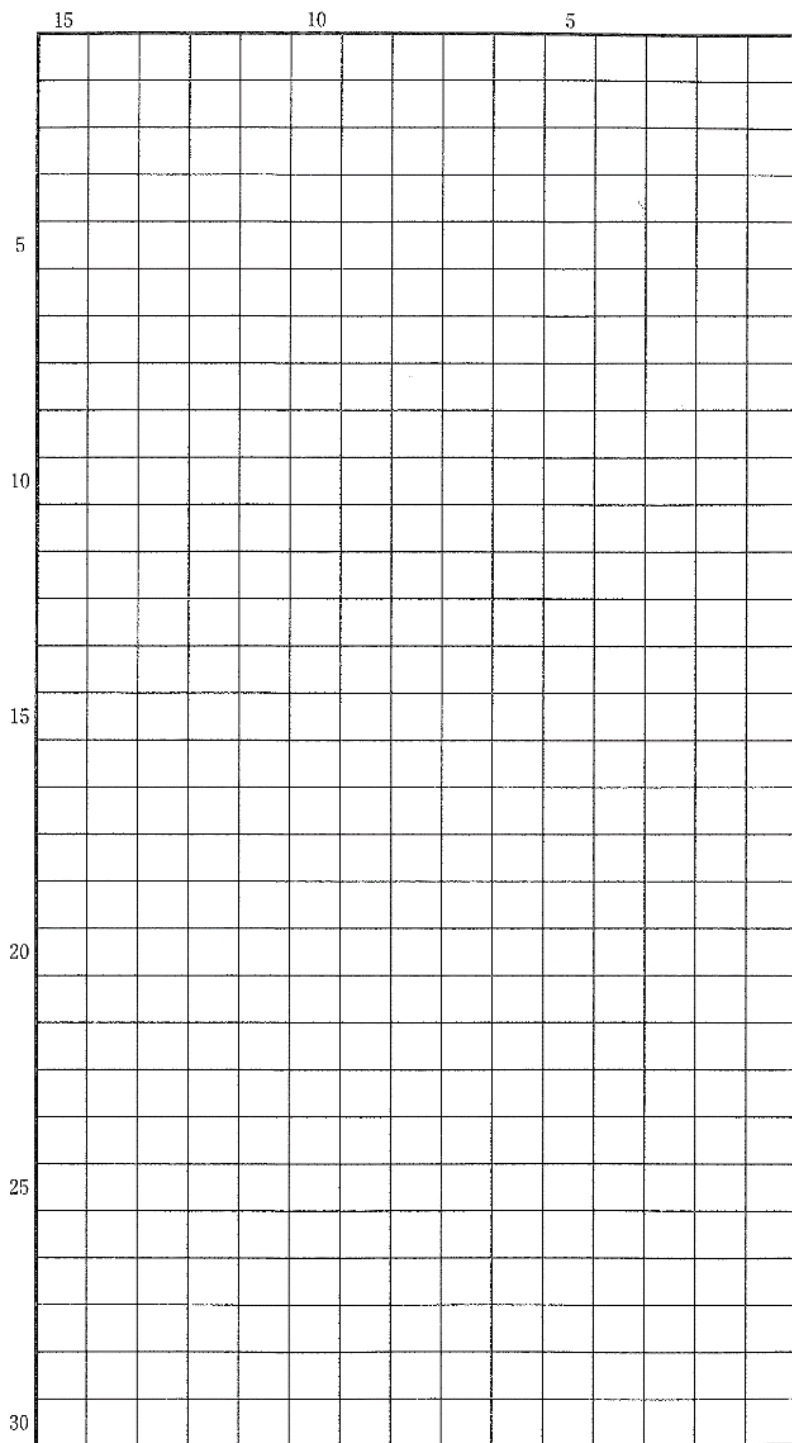
問四 波線部A「いいなあ」と波線部B「いいなあ」について次の問いに答えよ。

- 1 波線部A「いいなあ」と波線部B「いいなあ」の発言者をそれぞれ答えよ。
- 2 波線部A「いいなあ」と波線部B「いいなあ」との違いを本文中の言葉を用いて説明せよ。

問五 傍線部③に「五十鈴川の鴨のことを、女客には言えなかった」とある。「私」が「五十鈴川の鴨」のことを「香田」に言えなかったのはなぜか。六十字以内で説明せよ(句読点を含む)。

問六 傍線部④に「女客を送り出すと、私はそのまま社の外に出た。歩きたかった。歩かずにはいられない気持だった」とある。「私」が「歩かずにはいられない気持」になった理由を本文中の言葉を用いて説明せよ。

下書き用（解答は、別紙の解答用紙に書くこと。ここに書いたものは、採点の対象にならない。）



第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(吉田修二「月夜のダイニング」による)

コテージ……山小屋風の小別荘。

スクーター……腰掛けた姿勢で乗る、車輪の小さい自動二輪車。

問一 傍線部①に「あの数日間が、その前後に流れていた時間と繋がっているように思えない」とある。これは、どういうことか、説明せよ。

問二 傍線部②「だから」の使い方は、次の例のような「だから」の使い方とどのように違うか。簡潔に説明せよ。

(例) あの人は、アメリカに三十年間もいた。だから、英語がペラペラだ。

問三 傍線部③に「自分が今いるこの世界ではこれが当然なのだ」というような、やはり夢の中でその夢を肯定しているような、そんな奇妙な感覚」とある。これはどういうことが奇妙だと言っているのか。五十字以内で説明せよ(句読点を含む)。

問四 傍線部④に「ついさっきまで宮沢賢治の世界にいたので、少し気後れしてしまい」とある。

1 「宮沢賢治の世界にいた」とは、どういうことか。わかりやすく説明せよ。

2 「少し気後れしてしま」ったのは、なぜか。簡潔に説明せよ。

問五 傍線部⑤に「奇妙だったなあと感じる」とある。一方、二重傍線部には「このホテルで何か奇妙な体験をしたわけではない」とある。一見、両者は矛盾しているようにみえるが、どのようにつじつまが合うのか。説明せよ。

試験時間中に机の上に置いてよいもの

- 本学受験票
- 大学入試センター試験受験票
- 配付した問題冊子等
- 黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）
- 鉛筆キャップ
- シャープペンシル
- 消しゴム
- 鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）
- 定規
- コンパス
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）
- 眼鏡
- ハンカチ
- 目薬
- ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）